

10月4日に合唱コンクールをルネこだいらにて行いました!!

合唱コンクールを終えて・・・(partⅢ)

以下、生徒の作文を掲載していきます。

今回は、1年B組高橋結衣さんと、1年C組井口明咲さんの作文です。

合唱コンクール関係の内容については、最終号となります。

ぜひご覧ください。

初めての挑戦

1年B組 高橋 結衣

私は、今回合唱コンクールである挑戦をしました。それは、伴奏です。小学生の時は、伴奏に挑戦する機会があっても他の人がやるからいいやと挑戦しないことが多くありました。でも、中学生にもなっている事を挑戦しないのはどうなのか、と思い伴奏に挑戦しました。初めの頃は、指揮者を見る余裕がなく歌う人とずれてしまったり、完璧に最後まで弾けなかったりして、悔しい思いを沢山しました。しかし、あきらめず練習したことによって余裕をもって弾くことや最後まで弾くことができました。本番では、いつも使用しているピアノと違い、音が出にくかったけれど、練習の成果もあり自分の納得のいく伴奏をすることができました。

また、今回の合唱コンクールを通して、クラスで助け合うことや自分の諦めないという力や挑戦してみるという勇氣など様々な事が身に付いたのではないかなと私は思いました。金賞や銀賞はとることができなかったけれど、よりクラスの団結の力が深まって成長できたと思いました。

合唱コンクールで学んだこと

1年C組 井口 明咲

私は、この合唱コンクールで指揮者をやりました。私がこの合唱コンクールで学んだことは二つあります。

一つ目は、挑戦する力です。私は、最初、指揮者になるつもりはありませんでした。しかし、自由曲の指揮者が中々決まらなくて空気も少し重くなっていました。私は指揮者もやった経験もないので自信がなかったのですが、人をまとめるのには自信があったので、手を挙げてみました。最初は手を挙げるタイミングや、指揮が始まるタイミングや終わるタイミングが合わず苦戦しました。でも、間違えても友達が励ましてくれたり、アドバイスをくれて自信が持てました。合唱コンクールでは自信を持って指揮をすることができたと思っています。

二つ目は、練習の大切さです。指揮と歌唱者のタイミングが合うようになってきたとき、私はまた新たな課題ができました。それは、伴奏と指揮を合わせることです。最初は伴奏者とずれがあり、苦戦しました。しかし、練習を重ねていき、息が合うようになりました。

私は、この合唱コンクールで挑戦する力と練習の大切さを学ぶことができました。これは、日々の生活にも役立てられると思います。特に、挑戦する力は委員会や部活、受験にも役立てられると思いました。この合唱コンクールで学んだことを生かして、学校生活をより良いものにしていきたいと思っています

〈今後の予定〉

10月26日(木)校区别協議会のため午前授業

10月30日(月)5時間授業

10月31日(火)5時間授業